



### 業者の規則厳守で 警城米格段の向上

#### 最高は一當業に於て六千俵 普通七 八百から千俵

縣穀検査支所では去る二月十四日から廿五日に亘る期間の最盛期に於て石城郡内動力利米調製業者組合員三百三名に對し各町村役場に業者を招集訓示の後帳簿の検閲並に業額調査を行ひ容量の不足及び票箋の記載その他規程の粗雑に添はざるものへ戒告を與へ優良業者に對しては来る四月下旬頃開かれる營業組合總會に於て表彰を行ふ筈であるが立米調製の最も多きものは平支部長である鹿島村佐藤米治氏の六千俵(立米)で少なき者は三、四百、普通七、八百から千俵を算し一俵十五錢づゝの概摺料では石油の昂騰から辛ふじて引合ふ程度であるが一般業者はよく規則を守り乾燥せざるものを絶対に手にかけぬので調製から包装等に好成績を上げ従來幼稚であつた諸調製業者の格段に一般の向上を示し等外米の如き漸次少なくなつてゐると

### 小名沖で漁船衝突 材木船に船尾を破壊さる

石城郡江名町字北街石川菊松所有漁船三吉九二十四噸が去る六日午後六時四十分頃漁撈から歸途海上に於て所屬不明の材木船五十噸と船尾を衝突破壊され航行不能に陥つたとこゝろを地元江名町から出動せる救助船四隻により歸港したが乗組員一同は無事であつた

### 警中第卅八回卒業式

既報縣立警城中學校第三十八回卒業式は今日午前十時同校講堂に於て舉行されたが卒業生總數百八十四名で内學術操行共に優等六名、五年間正副級長總數六名、在學五年精進生三十二名、本學年精進生二十七名に夫々賞品賞状を授與された卒業生氏名は左記の如くである

- ハ在學五ヶ年間正副級長勲賞状並ニ賞品ヲ授與セラル、生徒、
- ハ在學五ヶ年間正副級長勲賞状並ニ賞品ヲ授與セラル、生徒、
- ハ在學五ヶ年間正副級長勲賞状並ニ賞品ヲ授與セラル、生徒、

日刊日曜新聞 日刊日曜新聞 日刊日曜新聞

### 小學生恤兵献金

野勇(小川)草野三郎(赤井)平第一小學校尋常四年一組小松健之助君は昨六日小使錢を節約した金一圓九十錢を恤兵献金方役所に寄託した

### 凶作對策協議

石城郡山手方の冷害凶作對策協議會は昨日午後一時から八時野小學校に於て十日午前九時から田入村入旅人小學校に於て催されるが何れも柴田郡農技手臨席すると

常識 常識 常識

### 本市街地下 採掘問題

北支の採掘問題が何時實現するかは別として、現時的發展途上にある本市街地、殊に仲びるべき地域の少ない、額大の南東を強いて掘らせねばならぬ必要は國家にないかと考へる、採掘賛成議員の吹聴に仙台山監督局は本市が苦情を述べれば諮問なしに採掘を許可するだらうと云ふが左様な事はコケ成しと云ふもの、監督局が發狂でもしない限りあるべき道理でない、管利會社の爲めに自治体を破壊されたるものではない、炭礦の手先になつて暗躍するが如き、國家社會を毒するものである、

### 坑夫の落盤死

石城郡湯本町の出入炭坑採炭夫武藤勘三郎(三)は去る五日午後十一時頃同坑六坑内に於て作業中落盤に遭ひ急急手當を受けたが六日死亡した

### 澤渡第二區長

澤渡村第二區(上市)區長に若松徳吉氏決定

### 産馬豫算總會

石城産馬組合では来る十一日午前十時から平市團練事務所を評議員會を開き翌十二日午

- 根本忠雄 根本透 根本芳弘 根本義男 野木健男 橋本光雄 八田宗市 濱崎廣太郎 濱島曉 比佐秀雄 菱沼三郎 蛭田文夫 舟生保久 橋本武男 戸來盛 遠來信明 星野喜四郎 堀越政造 松浦孝 松崎守男 松田良太郎 馬目一郎 馬目大 前田春雄 三田智雄 水野谷市郎 緑川浩行 宮澤光伸 室越廣美 森笠仲族 八代英 矢代弘文 矢野浩一 山野武藏 遊佐善夫 横内直寛 吉田忠徳 吉田一興 吉田三郎 吉田尚吉 吉田武 吉田豊司 吉田伴四郎 吉田等 吉田浩 吉田益三 吉田幸 渡和夫 渡邊正保 渡邊正夫 渡邊裕 渡邊興志 雄 和浩美 猪狩三良 猪狩三三 遠藤吉雄 同部藤芳行 小野隆 小野忠弘 小野富房 小野文雄

### 三坂局に電話

三坂郵便局には従來公衆電話の設備がなかつたが近く架設されることになり目中山台遊信局で測量中

### 電工の感電死

石城郡飯野村の宇上田大日本電力平出張所電工山形庄八三は去る四日朝八時頃安達郡高川村地内で電線修理中誤つて流電に觸れ即死した

### 郵貯通帳泥

石城郡内郷村警務所坑夫官城縣警米郡警署村生れ窃盗前科一犯小野山善太郎(三)は去る三日同僚の郵便貯金通帳二十八圓記入その他を窃取し右の貯金を綴りから拂戻し逃走するところを平署に逮捕さる

### 少年強盗送検

市内城山地内で白晝女を襲つた少年強盗送検(四假名)の身柄は昨日送検、近く少年審判所へ送られる

小名濱町竹辻野八太郎(三)三日午後三時ごろ八太郎(三)及び穴戸正雄(三)木崎金雄(三)小野金太郎(三)坂本な(三)二日深夜三時ごろ六名が花札賭博開帳中一網打盡に検挙

### 泥酔歸途の奇禍

石城郡植田町役場書記赤津龍松氏(三)は去る四日夜友人數名と飲酒歸途の歸途路傍の堀に墜落して死亡した

### 坑夫の落盤死

石城郡湯本町の出入炭坑採炭夫武藤勘三郎(三)は去る五日午後十一時頃同坑六坑内に於て作業中落盤に遭ひ急急手當を受けたが六日死亡した

### 坑夫落盤死

好問村日曹小川炭坑坑夫佐藤敬吾(三)は三日午後九時半頃作業中落盤で死亡した

### 藏持部落常會

石城郡鹿島村下藏持部落常會は今日午後一時から同部落に開かれ鹿島から柴田技手出張した

加へて我々一同君國の爲めに死んで後止むの決心を以て一意奉公致し居り候、目下は湖州附近の警備に當り居り候他事ながら御安神下され度御失禮ながら御安後の皆々様にも宜しく御傳言下され度願上候、右近況の御報かた、厚く敬意を表する次第に候、

### 野に臥し山に宿ね 屍体を越えて進軍

前支隊、遺散出征の際に、野に臥し山に宿ね、屍体を越えて進軍、抗州灣上陸以來〇〇となり

### 戦地野に臥し山に宿ね 屍体を越えて進軍

前支隊、遺散出征の際に、野に臥し山に宿ね、屍体を越えて進軍、抗州灣上陸以來〇〇となり

### 戦地野に臥し山に宿ね 屍体を越えて進軍

前支隊、遺散出征の際に、野に臥し山に宿ね、屍体を越えて進軍、抗州灣上陸以來〇〇となり

前支隊、遺散出征の際に、野に臥し山に宿ね、屍体を越えて進軍、抗州灣上陸以來〇〇となり



### 木炭原林の 抜伐り法

群馬縣に於ける  
優秀なる効果

台木の樹齡を常に若く維持するためには地間に近き部分より生ぜるものは残存し比較的高さ位置から生じたものを先に伐採して行つた方がよい、要するに以上のやうな方法をとつて貰へば實際に抜き伐りが萌芽の衰頽を來たす様なことはない序に本縣に於ける製炭の一例を上げる、三春木炭検査所管内の木炭生産は年額百九十九萬俵、百三十萬圓に達し製炭業者四千三百戸の中専業とする者一千戸を越えてゐるが近來の高値に活況を示してゐる、昨年の高値櫛一俵(十五キロ)一圓五錢を本年は七月に破り八月一圓十錢、十一月初め遂に一圓四五錢と昂騰し十二月に入つて稍低落一圓三十錢台になつた

一時製炭者が勞働力の不足から木炭飢饉を憂慮されたが價格の昂騰につれ新しく産を築いて製炭に従事するものも多く生産額は平年の一割減程度で喰ひ止め得るものと見られてゐる、たゞ歳末出荷を前に大雪雪があつたため約十日間出荷が遅れ販賣業者を慌てさせてゐるが今後の昂騰はあるまいと豫想されてゐる、木炭高で懷を温たかくしたるものは山主であつて炭材約三十萬本が伐採されるが國有林の拂ひ下げは十萬本に達せず三分の二は私有林であつて

原木相場は例年より三割乃至五割高となつてゐる(元リ)

◇一般印刷物も  
御引受致します  
新しいわき新聞社  
印刷部

### 牛も豚も優良品の自慢

平市 田町  
**三三三屋**  
肉の御 用命は

正確なる  
体温計  
寒暖計  
計量器指定販賣  
平市五丁目角  
山野邊藥局

## 藤沼醫院

平市紺屋町 電五〇七

## 大河内

平市搔搔小路  
**整形科醫院**  
電話五八八番

食 事。  
喫 茶。  
酒場を兼ねた。  
レストラン  
**サロシ**  
町田平  
二五三電

外科一般 内臓外科  
レントゲン科 泌尿器科  
晝夜 **北川外科**  
診察  
〔血液検査毎日〕  
インテモ  
入院デキマス  
平市新川町二七(電四六四)  
醫學博士 北川芳夫  
技 師 三浦常保

診療科目  
一、齒科一般  
保 存 科、補綴科、歯槽膿腫科、  
齒列矯正科、小兒齒科、咬合器科、  
一、口 腔 外 科  
一、レントゲン科  
平市 田町  
(松月堂向ひ)  
**中野齒科醫院**  
院長 中野 忠 女  
醫學士 西 川 誠  
醫學士 西 川 誠  
電話五〇九

銀 牛  
豚 鳥  
申 カツ汁  
珍珠御試食願上ます  
チンヤ式食堂  
静かなお座敷  
平市三田小路・電一六七  
**の井**

優良品の自慢  
**三三三屋**  
平市 田町  
電話 二五三

磐城城代  
酒 銘  
美 味 經 濟  
マヤ 山崎合名會社  
平市 田町

内科、小兒科  
外科、花柳病科  
耳鼻咽喉科  
レントゲン科  
平市田町 電話五一三番  
**高久病院**  
院長 醫學士 高久忠

新時代の要求  
御手不足の御家庭  
經濟的を御使  
宜御用命をお  
願ひ致します  
平市南町  
電話三〇七  
**平看護婦會**

變壓器 販賣、修理  
社會資合  
所工鉄藤佐  
町見月市平  
(番二六三話電)

産科、婦人科専門  
**根本醫院**  
病室 入院 隨時  
増築 手術室完備  
根本庄次郎  
根本貞雄  
平市南町  
(電話三四番)

看護見習募集  
**明雲堂眼科醫院**  
平市田町(三丁目奥川岸通)  
入院應需(自炊の便あり)